

四万十市地域公共交通活性化協議会

平成21年3月23日設置
平成22年3月25日連携計画策定



概要

四万十市は平成17年4月に旧中村市と旧西土佐村の合併により誕生した。本市は行政や商業施設等が集積する市街地エリアを少し離れると中山間地域を多く擁しており、車は移動手段として必携である。また、合併後の公共交通バス体系については未だ一体化が図られていない状況で、旧市村時代からのそれぞれの運行形態を継承しているため、交通体系の見直し、実証運行などの事業を実施することによって、行政負担の軽減化を図りながら利便性の向上等を図る。

既存路線・体系等の見直し・拡充

- バス交通体系の見直し
 - ・口屋内線の幹線化
 - ・下田線の幹線化
 - ・効率的な運行方式の実証運行
- 中村まちバスの利便性の向上
 - ・デマンド交通エリアの拡大
 - ・デマンドシステム更新
- 運賃の割引
 - ・100円刻み運賃の導入
 - ・免許サポート制度導入
- 情報提供の充実
 - ・バスマップの全戸配布
 - ・ホームページの拡充
 - ・市公式ホームページや広報の利用推進
- 接続・乗り継ぎの改善
 - ・鉄道・バスとの接続・乗り継ぎの改善
 - ・主要施設へのバス乗り入れ

情報提供の充実

- バスマップの全戸配布
- ホームページの充実
- OPR・広報の推進
 - ・チラシ・ポスター等の作製・配布
 - ・市のホームページや広報の活用

車両・施設の改善

- バス待合環境の改善
- バス車両の改善
 - ・車両の小型化・低床バスの導入
 - ・バスのラッピング

